

香童の柊

No. 19

壬生町立稲葉小学校 学校便り

平成29年11月24日

文責：校長 廣田 昌英

砂遊び？

ある日の3時間目、体育館の北にある砂山に5年生が群がっていました。みんなで移植ごてを持って砂を固めたり掘ったりしています。おいおい、5年生が授業中に砂遊びかよ？しかも中心には河又先生がいるし、古郡先生は水道につないだホースを持って砂山の頂上にいるし、いい大人も一緒になってなかなかダイナミックに砂遊びしてるじゃん！っと思って見に行きました。ギャーギャー、ピーピー言いながら5年生は大盛り上がり。河又先生は必死に、「ほら、どっち側が削れてるかよ〜く見てごらん！」「内側は水が流れずに砂が溜まってるでしょ。」と話しかけています。そう、川の浸食の実験でした。5年生が砂山に蛇行した溝を造り、古郡先生がそこに水を流しての実験だったのです。川による浸食のメカニズムを、子ども達は実感を伴って理解できたと思います。そういえば地蔵橋付近の黒川もきれいに浸食されてますよね。是非、浸食に興味を持った5年生に見て欲しいです。

自給の恩恵

11月8日（水）の給食メニューに「鶏肉と蓮根とさつまいもの甘だれ」というものがありました。そしてそこに入っていたさつまいも、実は稲葉小産だったんです。本校児童が植えて収穫したものでした。しっかりと甘く、おいしいさつまいもでした。

自分たちで収穫したものを食べる子ども達、きつといつにも増してありがたくだいているんだらうと思ってランチルームを覗いてみました。ところが、何だかいつもと変わらずにパクパクムシャムシャ。あれれ？いつもと同じ？

自給することによって給食費が節約され、節約された給食費によってデザートが追加になるかも？って教えた方が、子ども達にはありがたみが伝わるのでしょうか？

人権週間

12月4日（月）から8日（金）までの5日間は本校の人権週間です。事務職員の高山緑さんが1ヶ月ほど前から人権に関する本をピックアップして、図書室前に人権に関するコーナーを作ってくれました。それによると人権とは、生まれたときから持っている「自分らしく生きる」権利だそうです。自分は大切にされたいですね。だから、まわりの人々を大切にしなければいけませんよね。人権週間中は、人権に関する標語、音楽、本の紹介、道德の授業、町による「みぶっ子心のきらめき表彰」などを通して、自分とまわりの人々を大切にすることを育てます。我々職員もあらためて自分たちの言動を見つめ直します。皆さんもどうぞ、御協力をお願いいたします。

豊かさに感謝

ある朝、1年生の教室に男の子が登校してきて、ランドセルを乱暴に床に置いた時のことです。ある女の子が言いました。「6年間使うんだから大切にしなければダメだよ！」.....まさしくその通り。男の子は反論することなく、片付け始めました。

ランドセルを買ってもらったときの気持ちって、子ども達はいつまで覚えているのでしょうか？ピカピカのランドセル、うれしかったでしょうね。買ってもらったことに感謝の気持ちを持ったかも知れません。稲葉小のみんな、そんな気持ちをいつまでも忘れないでね！